



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社クリップコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 井上憲氏
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務管理部マネージャー (氏名) 岡田高志 TEL 052-732-5200

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	655	1.3	△113	—	△115	—	△124	—
2025年3月期第1四半期	646	△1.0	△113	—	△104	—	△116	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △137百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △102百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△34.65	—
2025年3月期第1四半期	△32.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,314	4,498	84.7
2025年3月期	5,479	4,798	87.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,498百万円 2025年3月期 4,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,522	2.0	9	—	9	—	△20	—	△5.82
通期	3,162	4.1	133	—	134	214.2	65	—	18.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	4,536,000株	2025年3月期	4,536,000株
2026年3月期1Q	933,812株	2025年3月期	933,812株
2026年3月期1Q	3,602,188株	2025年3月期1Q	3,602,188株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、事業環境の不透明感が高まっております。インバウンド需要が活況を呈しているものの、物価上昇が実質所得を圧迫し、消費者は節約志向を強め、将来に対する不安感が高まっております。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新しい仕組みづくりが求められております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続・発展させることに尽力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高6億55百万円(前年同期比8百万円増)となりました。

利益面につきましては、営業損失1億13百万円(前年同期は営業損失1億13百万円)、経常損失1億15百万円(前年同期は経常損失1億4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億24百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億16百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、「その他」として集約していた複数の事業のうち、連結子会社である株式会社螢雪ゼミナールと株式会社日本体験センターが営む事業の一部について、量的重要性が増したため「生涯教育事業」として独立したセグメントとして記載する方法に変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナール、有限会社アクシス及び株式会社セア教育研究所を含む当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は5,384名(前年同期比7.6%減)となり、売上高は4億74百万円(前年同期比24百万円減)、セグメント損失は1億2百万円(前年同期はセグメント損失80百万円)となりました。

(スポーツ事業)

当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は3,409名(前年同期比10.1%減)となり、売上高は62百万円(前年同期比9百万円減)、セグメント利益は0百万円(前年同期はセグメント損失4百万円)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は33百万円(前年同期比7百万円減)、セグメント損失は11百万円(前年同期はセグメント損失15百万円)となりました。

(生涯教育事業)

就労継続支援事業・ボイストレーニング教室・韓国語学校等を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は27百万円(前期比16百万円増)、セグメント損失は4百万円(前年同期はセグメント損失0百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は57百万円(前年同期比33百万円増)、セグメント利益は4百万円(前年同期はセグメント損失12百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は33億35百万円(前連結会計年度末比1億36百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億12百万円減少したことと商品及び製品が40百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は19億78百万円(前連結会計年度末比28百万円減)となりました。

これは主に、投資有価証券が8百万円減少したこととのれんが7百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は6億45百万円(前連結会計年度末比1億35百万円増)となりました。

これは主に、流動負債その他が1億52百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億69百万円(前連結会計年度末比0百万円減)となりました。

これは主に、資産除去債務が1百万円増加したことと長期借入金が1百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は44億98百万円(前連結会計年度末比3億円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が2億86百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、主力事業である教育事業の平均生徒数実績が、前期比441名減(7.6%減)、予想比130名増(2.5%増)とやや予想より上方水準で推移しており、スポーツ事業の平均生徒数実績についても、前期比385名減(10.1%減)、予想比63名増(1.9%増)と予想より上方水準で推移しておりますが、連結売上高及び連結営業損益について、現時点では、予想の範囲内で推移していると判断しております。

第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、共に、前回公表数値と同額を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,998,961	2,886,308
受取手形及び売掛金	21,845	34,529
商品及び製品	354,798	314,366
原材料及び貯蔵品	9,149	3,923
その他	87,112	96,569
流動資産合計	3,471,866	3,335,698
固定資産		
有形固定資産	326,986	323,906
無形固定資産		
のれん	101,705	94,281
その他	31,893	30,799
無形固定資産合計	133,598	125,081
投資その他の資産		
投資有価証券	1,072,558	1,064,554
その他	474,336	465,212
投資その他の資産合計	1,546,895	1,529,766
固定資産合計	2,007,481	1,978,754
資産合計	5,479,347	5,314,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,393	16,981
短期借入金	180,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	10,008	10,008
未払法人税等	5,447	9,575
賞与引当金	36,922	58,887
その他	247,545	400,315
流動負債合計	510,315	645,769
固定負債		
長期借入金	19,976	18,308
退職給付に係る負債	102,464	103,148
資産除去債務	26,478	28,304
その他	21,145	19,986
固定負債合計	170,064	169,746
負債合計	680,380	815,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,385,611	5,098,693
自己株式	△804,592	△804,592
株主資本合計	4,823,419	4,536,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49,723	△56,131
為替換算調整勘定	25,271	18,567
その他の包括利益累計額合計	△24,451	△37,563
純資産合計	4,798,967	4,498,937
負債純資産合計	5,479,347	5,314,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	646,626	655,090
売上原価	547,958	574,026
売上総利益	98,668	81,063
販売費及び一般管理費	211,795	194,469
営業損失(△)	△113,127	△113,405
営業外収益		
受取利息	340	826
受取配当金	5,350	4,379
投資有価証券評価益	3,763	-
受取手数料	107	101
受取賃貸料	380	448
その他	2,232	765
営業外収益合計	12,174	6,520
営業外費用		
支払利息	733	733
支払手数料	903	898
持分法による投資損失	2,090	310
為替差損	-	6,255
投資有価証券評価損	-	595
その他	28	23
営業外費用合計	3,756	8,817
経常損失(△)	△104,708	△115,702
特別利益		
受取保険金	-	2,000
特別利益合計	-	2,000
特別損失		
役員退職慰労金	30,000	-
弔慰金	-	2,000
減損損失	63	-
特別損失合計	30,063	2,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△134,772	△115,702
法人税等	△18,337	9,117
四半期純損失(△)	△116,434	△124,819
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,434	△124,819

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△116,434	△124,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,054	△6,407
為替換算調整勘定	938	△6,704
その他の包括利益合計	13,993	△13,112
四半期包括利益	△102,441	△137,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,441	△137,931
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	生涯教育事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客に 対する売上高	498,824	72,556	40,588	11,118	623,088	23,537	646,626
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	639	639
計	498,824	72,556	40,588	11,118	623,088	24,177	647,266
セグメント損失 (△)	△80,441	△4,432	△15,257	△301	△100,432	△12,694	△113,127

	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
売上高		
外部顧客に 対する売上高	—	646,626
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	△639	—
計	△639	646,626
セグメント損失 (△)	—	△113,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	生涯教育事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客に 対する売上高	474,754	62,683	33,422	27,311	598,171	56,919	655,090
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	319	319
計	474,754	62,683	33,422	27,311	598,171	57,239	655,410
セグメント利益又 は損失(△)	△102,586	115	△11,387	△4,461	△118,319	4,913	△113,405

	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
売上高		
外部顧客に 対する売上高	—	655,090
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	△319	—
計	△319	655,090
セグメント利益又 は損失(△)	—	△113,405

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。
 2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。
 3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「その他」として集約していた複数の事業のうち、連結子会社である株式会社螢雪ゼミナールと株式会社日本体験センターが営む事業の一部について、量的重要性が増したため「生涯教育事業」として独立したセグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	11,991千円	10,773千円
のれんの償却額	9,643千円	7,423千円